

Title	成熟市場における優良企業の戦略と組織
Sub Title	
Author	新井, 佳代子 小幡, 績
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2005
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2005年度経営学 第2020号 不可
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002005-2020

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

論文要旨

所属ゼミ	小幡 研究会	学籍番号	80430077	氏名	新井 佳代子
<p>(論文題名)</p> <p>成熟市場における優良企業の戦略と組織</p>					
<p>(内容の要旨)</p> <p>主力製品の市場が成熟した後も、収益性を上げながら成長し続ける企業の戦略と組織の特徴は何か、それを明らかにして、成長と収益の持続的な向上を実現できない企業に活用できないだろうかという疑問の下、「主力製品の市場の成長率が横ばいまたはマイナスである」、「2004 年度決算時点で連続経常利益増益記録を果たした製造業企業」、「増益期間の売上成長率が同市場内の他社を上回っている」との条件を満たす企業 2 社、株式会社花王とダイキン工業株式会社を対象としてそれらの市場の競争要因、戦略、組織について事例研究を行なった。分析方法として、市場の競争要因には M.E.ポーターの 5forces モデル、戦略、組織分析には、トムピーターズ、ロバートウオーターマンの『エクセレントカンパニー』で紹介された 7S モデルを使用した。その結果、2 社の共通点として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 既存企業間の対抗度が強く、市場の競争環境が厳しい ・ 成熟市場への対応としてのグローバル化による市場拡大 ・ リーダーの経営に対する強いコミットによってリーダーの役割「① 6S 各要素に働きかけ、また、外部環境との整合性と各要素間の整合性を保つこと」、「② 既存の内部組織を変革し、外部環境の変化に適応すること」の双方が果たされていること ・ 特に上記①については、6S の要素のうち、リーダーが、コミュニケーション、企業理念、インセンティブに強く働きかけて、顧客優位の自律的企業文化を形成して外部環境の変化に適応している関係 ・ リーダーへの規律は資本市場ではなく、製品市場であることが観察された。 <p>次に、この共通点を参考に、以前勤務していた D 社に提言を行なうため、競争環境と戦略と組織を分析した。その結果、緩やかな競争環境と、市場ニーズに合致していない 7S システムの各要素がみられたため、更なる成長と収益を実現するための戦略、組織、リーダーシップについての提言を行ない、冒頭の問いに対する結論とした。</p>					